

技術系・英語研修 in 岡山（9/14(木)9/15(金)）の実施報告

○安信 香苗^{a)}、中村 有里^{a)}、石原 すみれ^{b),c)}

^{a)}岡山大学総合技術部教育支援技術課、^{b)}岡山大学総合技術部機器分析・動植物資源課、

^{c)}岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門

1. はじめに

2023年9月14、15日に岡山大学津島キャンパスにて「技術系・英語研修 in 岡山」を開催した。本研修は、2015年より大学設備ネットワークの主催で大学の技術職員や技術支援員（非常勤職員、派遣職員を含む）を対象に年に7回程実施されている英語研修のうちの1回である。通常はオンラインで開催されているが、昨年度よりそのうちの1回をオンサイトでの開催としており、今年度のオンサイトでの研修を筆者含む岡山大学総合技術部の3名が企画、運営することとなった。本発表では開催までの流れや研修内容、そして所感を報告する。

2. スケジュール

表1 開催までのスケジュール

開催までのスケジュールを表1に示す。日頃この研修を運営している技術英語研修WGの方とも連携をとりつつ、円滑な研修開催に向け入念に準備を行った。

2023年3月	企画立案・研修内容検討
2023年4月	開催日・講師・研修内容決定
2023年6月	研修資料準備・広報準備
2023年7月～8月	受講生募集
2023年9月14、15日	開催

3. 研修について

研修概要を表2に示し、具体的な研修スケジュールを図1に示す。受講者には事前課題として、資料の確認や自己紹介ムービーの作成・アップロードをお願いした。自己紹介については研修前に講師からフィードバックもあった。

1日目はハイブリッド形式で開催し、自己紹介やオンサイトの受講者が選んだ写真を英語でのやり取りによりオンラインの受講者が当てるゲーム感覚のあるグループワークを行った。企画を行った3名は、化学系、動物系、情報系と日頃の業務分野が異なり、本研修で幅広い分野の英語に触れることができるようそれぞれの分野にちなんだ機器をグループワークの写真に用いた。

2日目はオンサイト受講者のみを対象として、留学生役とスタッフ役に分かれて動物実験施設や工作センターでのKYTや工作センターにある実機を前に操作説明や質疑応答を実施した。

表2 研修概要

開催日時	1日目：2023年9月14日13:30～17:00（オンライン、オンサイトのハイブリッド）
	2日目：2023年9月15日10:30～13:00（オンサイトのみ）
開催場所	1日目：岡山大学共育共創コモンズ(OUX:オックス)
	2日目：岡山大学工学部1号館第2講義室、工作センター
講師	内田クレア先生（岡山大学言語教育センター非常勤講師）
受講者	1日目：11名（オンライン6名、オンサイト5名）
	2日目：7名

Day0	～ 9/8 (金)	【事前課題】 ・自己紹介ムービーの作成・アップロード ・研修資料の確認				
Day1	9/14 (木)	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
		集合・受付 13:00～13:30	開会・講師紹介 13:30～13:40	参加者・自己紹介 13:40～14:10	休憩 14:10～14:30	グループワーク (休憩含む) 14:30～16:30
Day2	9/15 (金)	10:00	11:00	12:00	13:00	
		集合・受付 10:00～10:30	動物実験施設のKYT 工作センターのKYT 10:30～11:30	移動・休憩 11:30～11:50	機械操作説明のシミュレーション 11:50～12:40	振り返り・講評・閉会 12:40～13:00

図 1 研修スケジュール

4. 事後アンケートの結果

事後アンケートの結果を図 2 に示す。いずれの日程も満足やほぼ満足といった回答をいただけた。

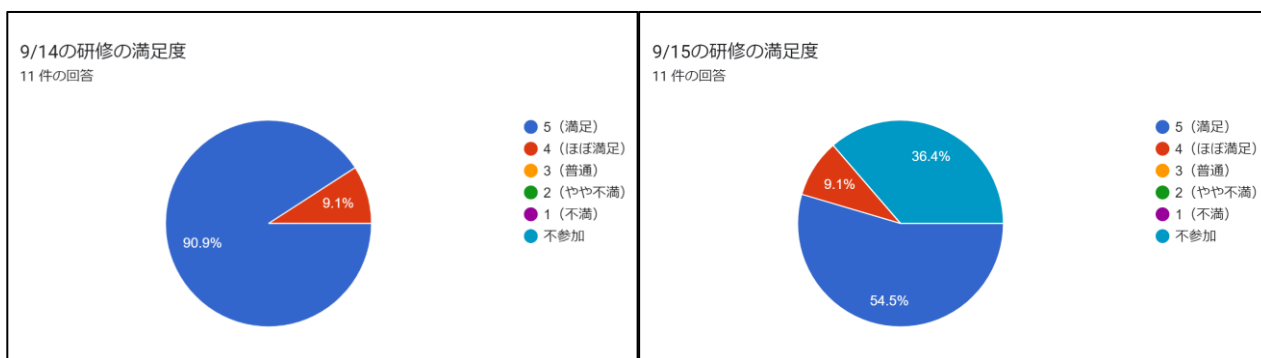


図 2 事後アンケートの結果

5. 所感

様々な業務分野の受講者が予想されるため、すべての受講者に有意義な研修となるか心配であった。しかし英語での言いまわしは単語を変えればどの分野でも共通して使えるため、分野を問わず業務に役立つ学びを得ることができた。

今回研修を企画・運営し、有意義な研修の実施には非常に周到な準備が不可欠であることを改めて感じた。また自身も留学生対応など日頃の業務で英語の必要性を感じており、今後も継続して英語を学んでいきたい。

謝辞

本研修を開催するにあたり、大学連携設備ネットワークやマテリアル先端リサーチインフラをはじめ岡山大学工学部、岡山大学総合技術部、岡山大学自然生命科学研究支援センター・動物資源部門、技術英語研修 WG の皆様に多大なるご支援をいただきました。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。また講師の内田クレア先生、岡山大学総合技術部設計製作・社会基盤技術課の尾崎亮太さん、三原拓海さん、藤本幸輝さんには研修の運営にご尽力いただきましたこと深く感謝申し上げます。